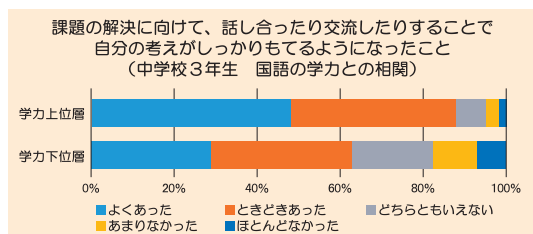


## ◆ 埼玉県学力学習状況調査のクロス集計の分析結果より

埼玉県学力・学習状況調査「質問紙調査」の結果を分析すると、「プランニング方略」や「認知的方略」等の学習方略は、学力との相関があります。これらの力を普段の授業をとおして伸ばしていくことで、学力向上が期待できます。

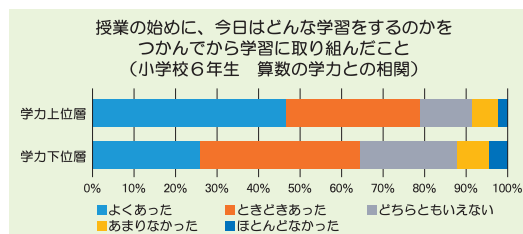
### 認知的方略

より自分の理解度を深めるような学習



### プランニング方略

計画的に学習に取り組む活動



#### 【認知的方略を伸ばすポイント】

- ・個々の思考と協働的な学びを十分に確保した学習計画を設定しましょう。
- ・振り返りを自分の言葉で行い、理解の度合いを意識できるようにしましょう。

#### 授業デザイン例①【小学校 国語】

- 小学校4年生「工芸品のみりょくを伝えよう」
- 課題：リーフレットでみりょくを知らせよう

工芸品の魅力について紹介するリーフレットを作成する活動を通して、系統立てた推敲の視点をもとに、自分の書いた文書を読み返したり、他者と推敲し合ったりして、伝えたいことを分かりやすく伝える文章を書く。

#### 【プランニング方略を伸ばすポイント】

- ・対話をとおして、学習のめあてと解決の見通しをもたせましょう。
- ・それぞれの考えを共有し、対話をとおして、数学的な思考力や表現力を高めましょう。

#### 授業デザイン例②【中学校 数学】

- 中学校2年生「一次方程式」
- 課題：おすすめのエアコンを考えよう

エアコンの買い替えの場面を設定し、数種類のエアコンについて、本体価格、年間電気代、1時間当たりの電気代などの様々なデータをもとに、年間の電気代を調べ、おすすめのエアコンについて説明する。

## 「戸田型非同期の学び」指導者用チェックポイント

### 児童生徒観

- ☐ 学習内容や指導事項について、子供の既習事項の定着状況を把握している。
- ☐ 学習後に目指す子供の姿が明確になっている。

### 教材観

- ☐ 単元の中で、子供に身に付けさせたい資質・能力が明確になっている。
- ☐ 学習内容についての、系統性や既習事項を理解している。
- ☐ 指導事項に即した学習内容となるよう、学習計画や単元計画を立てている。
- ☐ 子供の解決過程を予想し、課題や中心となる発問、声掛けの計画を立てている。
- ☐ 既習事項をいかしながら、子供が学びを深められるよう、支援の手立てを講じている。

### 指導観

- ☐ 子供が課題について理解し、興味・関心を高められるよう工夫している。
- ☐ 学習のめあてや解決の見通しをもとに子供自身が学習計画を立て、解決方針や学習計画の見直し、修正を行えるよう、支援している。
- ☐ 意図的・計画的に同期の場面を取り入れ、進捗を共有したり、情報交換を行ったり、教科の「見方・考え方」を引き出したりしている。
- ☐ 子供の様子をよく見て、適切に指導や支援を行い、子供の学びを見届け評価している。